

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	構造形態の創生と最適化小委員会		主 査 名：大崎 純 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 応用力学運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：竹脇 出
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築の構造設計における形態解析技術，計算力学と構造最適化の応用のための調査研究を行う。 ・ 「構造形態創生の理論と応用小委員会」からの継続事項として，橋梁の形状設計に関する成果の取り纏めを行ない，セミナーを開催する。 ・ 発見的手法や最適化手法の建築構造設計への適用について，実務的観点と理論的観点から問題点を分析して構造設計の新しい流れを提案する。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 大崎 純(京都大学)，萩原伸幸(大同工業大学)，高田豊文(三重大学) 大森博司(名古屋大学)，兼光知己(清水建設)，坂 敏秀(鹿島建設)， 曾我部博之(愛知工業大学)，立道郁生(前田建設工業)，平田裕一(三井住友建設)， 堤 和敏(芝浦工業大学)，藤井大地(近畿大学)，本間俊男(鹿児島大学)， 松井和巳(横浜国立大学)，松尾智恵(川口衛構造設計事務所)，三井和男(日本大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2005 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 建築構造形態の解析と最適化のための調査及び情報交換を行った。 2. シェル・空間構造運営委員会・空間構造における計算機応用小委員会・構造形態の解析と創生 WG との共催により，「コロキウム 構造形態の解析と創生 2006」を開催した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 活動経費の制約により十分に活動できなかった。 2. 他の小委員会との共催の場合，主たる小委員会以外の小委員会の成果にはならないのは問題ではないかと思われる。